



フェリーチェ・ベアトの写真 | 人物・風景と日本の洋画

2017年9月9日[土]—12月3日[日]

開館時間 || 9:30—17:00(入館は16:30まで) 休館日 || 月曜(9月18日、10月9日は開館)、9月19日、10月10日

主催 || DIC株式会社 後援 || 千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

入館料 || 一般 1,300円(1,100円)、学生・65歳以上 1,100円(900円)、小中学生・高校生 600円(500円) | 〇内は20名以上の団体料金

DIC川村記念美術館

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631 | Tel.050-5541-8600(ハローダイヤル)



右 フェリーチェ・ベアト《冬姿の娘》(鶏卵紙) DIC川村記念美術館所蔵
左 フェリーチェ・ベアト《東海道 横浜近郊》(写真の現写) (鶏卵紙) DIC川村記念美術館所蔵



フェリーチェ・ベアトの写真 人物・風景と日本の洋画

フェリーチェ・ベアト(1834-1909)は、19世紀半ばに中東やインド、中国などで撮影を行い、異国の風景や、インド大反乱、第二次アヘン戦争など戦場を記録する写真家として活躍しました。1863年には画家ワグマンを頼り日本に赴き、幕末から明治にかけて、横浜を拠点に、江戸や長崎など各地で風景や風俗を撮影しています。1884年に離日しますが、ベアトが写した写真は、海外向けの輸出品として盛んになる、いわゆる「横浜写真」の嚆矢として高く評価されるとともに、150年前の光景を現代に伝えるものとして、われわれの眼に非常に魅力的に映ります。

一方、近代日本の視覚表現において、写真は重要な役割を果たしています。油彩画の技法と写真技術はともに西洋から日本に伝えられますが、洋画に取り組んだ画家たちは、場合によっては写真も参照しつつ、構図を学び、風景を見だし、芸術性の高い油彩画をつくりあげてゆきました。

本展は、DIC川村記念美術館が所蔵する3冊のアルバムから写真約180点と、そこに見出される「人物(風俗)」と「風景」という観点において、日本における草創期の洋画作品18点をあわせて紹介するものです。西洋から日本に向けられた視線と、それを受けて日本で育まれた、芸術へと向かう視線を比較しながら、東西の文化の関わりを見つめなおす機会になればと考えています。

ベアトの生年に関しては1825年あるいは1832年とする説もある。

関連プログラム

講演会

フェリーチェ・ベアトの写真技術

9月23日[土・祝] 13:30-15:00

三井圭司 [東京都写真美術館学芸員]

日本の面影

10月14日[土] 13:30-15:00

エバレット・ブラウン [元EPA通信日本支局長 | ブラウンズフィールド代表]

いずれも予約不要、当日12:30より受付にて整理券配布

定員50名 | 入館料のみ

会場 | レクチャールーム (13:00開場)

担当学芸員によるギャラリートーク

9月9日[土]、10月28日[土]、11月25日[土] 14:00-15:00

14:00 エントランスホール集合

予約不要 | 定員60名 | 入館料のみ

ガイドスタッフによる定時ツアー

上記講演会・ギャラリートークの開催日を除く

毎日 14:00-15:00

14:00 エントランスホール集合

予約不要 | 定員60名 | 入館料のみ

古典落語とハーブ即興

演目 | 「死神」 | 「妾馬」

柳家吉緑 [落語協会二つ目]、彩愛玲 [ハーブ]

11月18日[土] 閉館後

3,800円 | 要予約 | 9月16日[土] 受付開始

詳細は当館HPでご確認ください



中段 | フェリーチェ・ベアト《愛宕山から見た江戸のパノラマ》 | 鶏卵紙 | DIC川村記念美術館所蔵

下段左 | 浅井忠《農夫帰路》1887(明治20)年 | 油彩-カンヴァス | ひろしま美術館所蔵

下段右 | 高橋由一《愛宕山より品川沖を望む》1877(明治10)年 | 油彩-カンヴァス | 横浜美術館所蔵



上 | 佐久間文吾《長房村風景》1889(明治22)年 | 油彩-カンヴァス | 府中市美術館所蔵

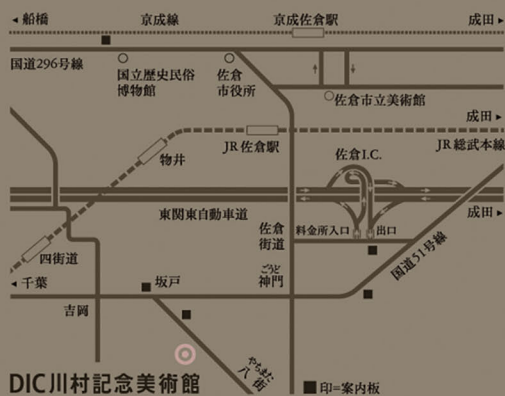
表紙 | フェリーチェ・ベアト《役人と従者》 | 鶏卵紙 | DIC川村記念美術館所蔵

裏表紙 | フェリーチェ・ベアト《神奈川、東海道》(神奈川宿の入り口) | 鶏卵紙 | DIC川村記念美術館所蔵



FELICE BEATO PHOTOGRAPHS

Kawamura Memorial DIC Museum of Art



自動車で東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線（八街横芝線）を八街方面へ約700m直進右手【約10分】、無料駐車場300台

東京駅から高速バスで 八重洲北口から徒歩5分、京成高速バス3番のりばから「マイタウンダイレクトバス」乗車【約60分】
往路 東京駅9:55発 ▶ 美術館11:02着
復路 美術館15:29発 ▶ 東京駅16:41着
料金 大人片道1,340円

問い合わせ先 ちばグリーンバス 043.481.0808

運行時間等に変更が生じる可能性があります。

最新情報は「ちばグリーンバス」にお問い合わせください

東京駅からJRで 総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車【約60分】、南口の美術館バス停より無料送迎バス【約20分】

上野駅から京成電鉄で 京成本線特急または快特の成田空港方面行きで「京成佐倉駅」下車【約60分】、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス【約30分】

送迎バス時刻表 ●印は土・日・祝日のみ運行

京成佐倉駅発 ▶ 美術館行	JR佐倉駅発 ▶ 美術館行	美術館発 ▶ JR佐倉駅・京成佐倉駅行
8:50	9:00	—
9:10	9:20	—
9:50	10:00	10:50
10:20	10:30	11:20●
10:50●	11:00●	11:50
11:20	11:30	12:50歴
11:50●	12:00●	13:20●
12:20	12:30	13:50佐
12:50●	13:00●	14:20●
13:20	13:30	14:50
13:50●	14:00●	15:20
14:20	14:30	15:50
14:50●	15:00●	16:20●
15:20	15:30	16:45
15:50	16:00	17:15

右記の館が休館の場合は経由しませんが、佐倉市立美術館経由は土・日・祝日のみ運行

歴 国立歴史民俗博物館経由

佐 佐倉市立美術館経由

Kawamura Memorial DIC Museum of Art
DIC川村記念美術館
http://kawamura-museum.dic.co.jp
Tel. 050-5541-8600(ローヤール) 千葉県佐倉市坂戸6-9-1